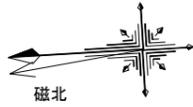


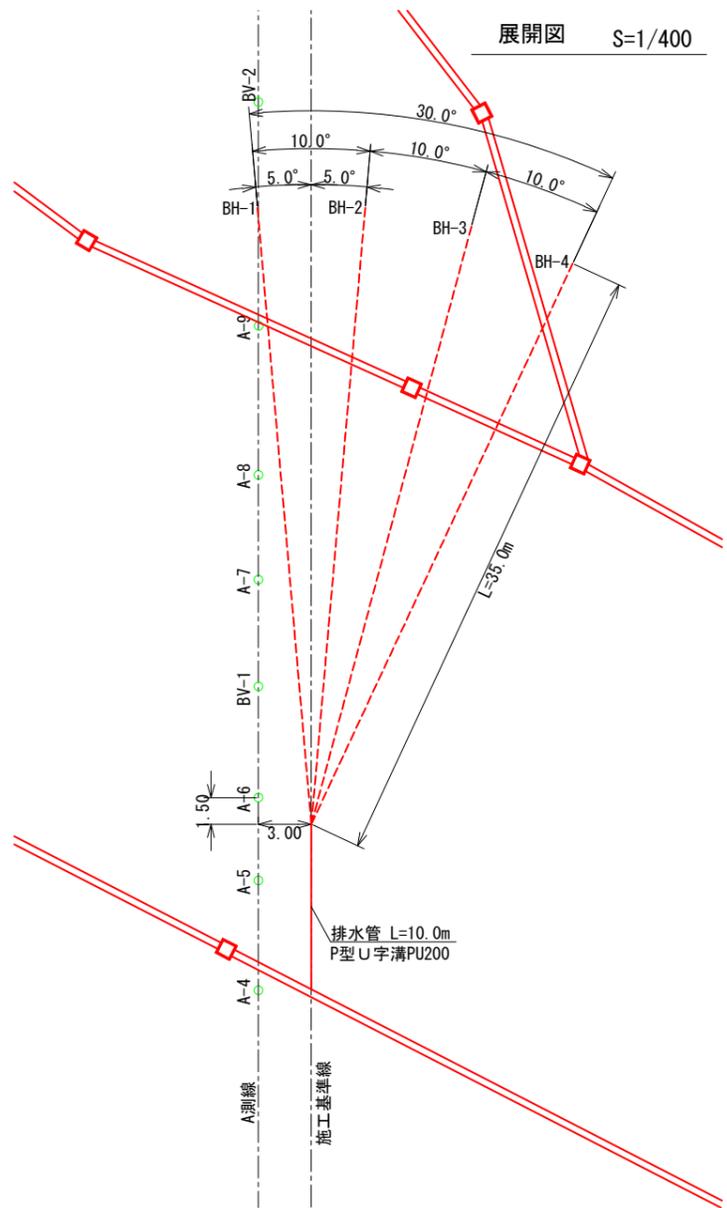
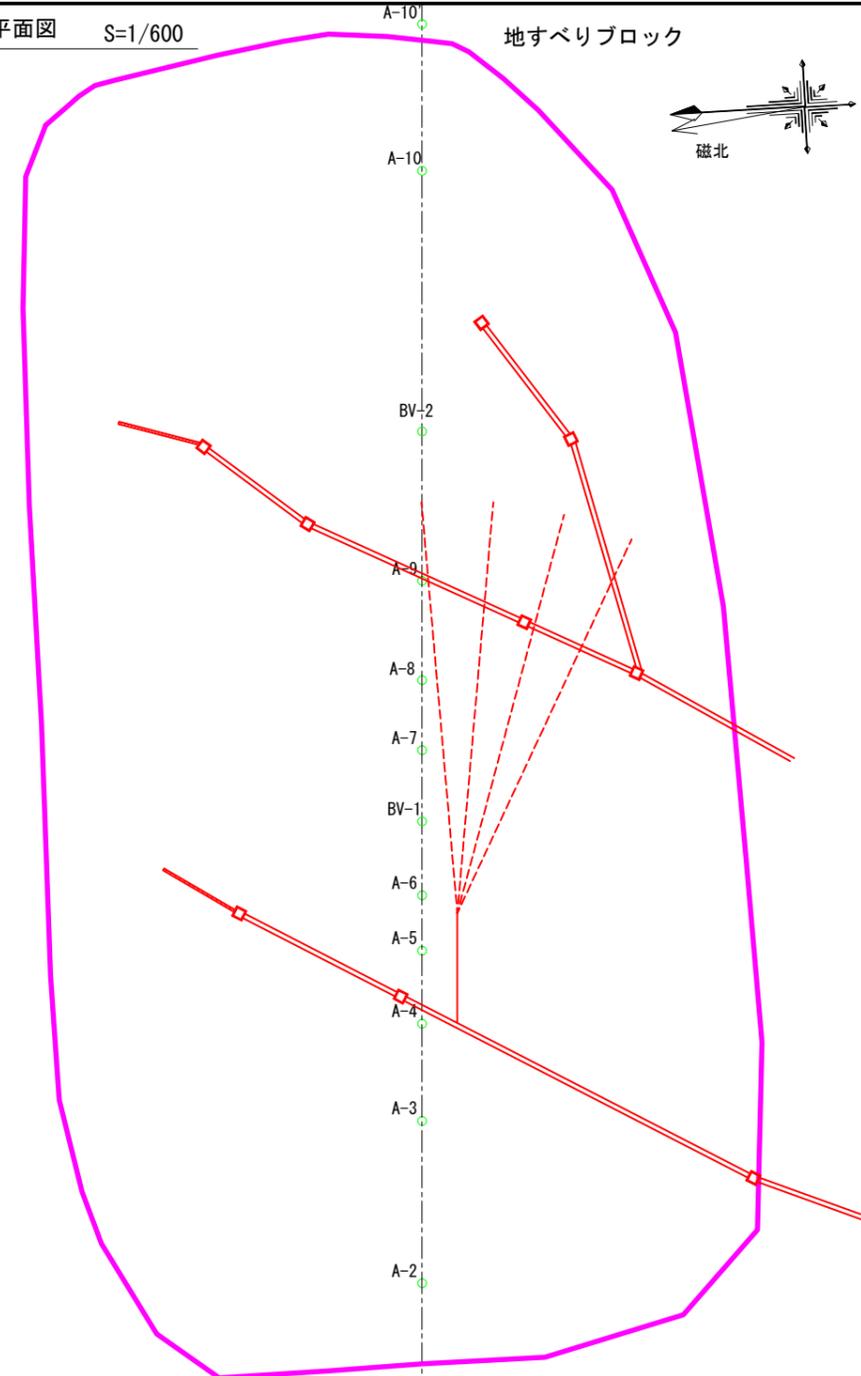
平面図 S=1/600

地すべりブロック



No. 2横孔ボーリング排水工構造図

展開図 S=1/400



横孔ボーリング排水主量表

BH-No	打設位置 (FH)	展開角度	打設角度 (仰角°)	削孔径 (mm)	削孔長 (m)	土質区分 (m)			集水管長 (VP40, m)	口元管長 (VP75, m)
						シルト粘土	礫質土	軟岩		
1	449.30	+5.0	+5.0	90	35.0	6.0	11.0	18.0	35.0	2.0
2		-5.0	+5.0			6.0	11.0	18.0		
3		-15.0	+5.0			6.0	11.0	18.0		
4		-25.0	+5.0			6.0	11.0	18.0		
合計: 4本		展開角30°			140.0	24.0	44.0	72.0	140.0	8.0

排水管: P型U字溝PU200 L=10.0m

集水保孔管は硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP40ストレーナ (穴径5mm-間隔100mm/4方千鳥)。集水保孔管の打設位置は設計標高通りに打設する (設計標高: 449.3m)。施工基準線は、A測線を南向りに3.0mオフセットした線とし、打設位置はA-6から下流側に1.5m離れた施工基準線上の位置とする。BH-1は施工基準線から北に5.0°展開し、BH-2は施工基準線から南に5.0°展開する。BH-3~4はBH-2から南に10°展開する。

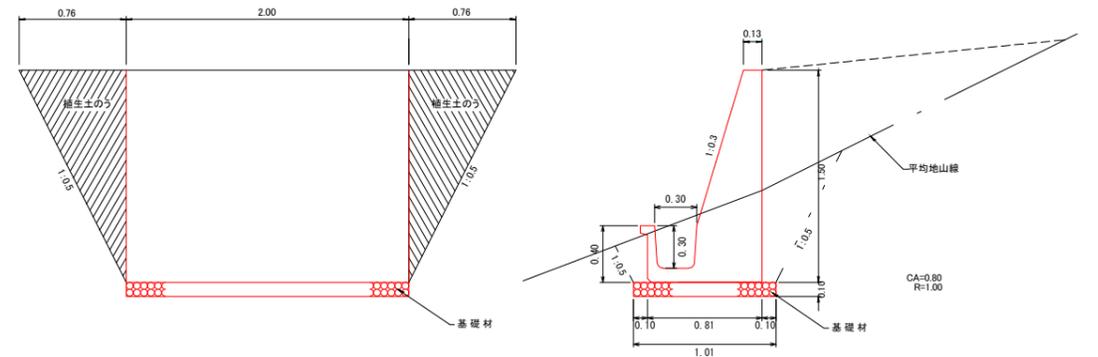
孔口保護工数量表

名称	規格	単位	数量
法止側溝	FL-S6150	m	2.0
基礎砕石	C40	m ³	0.2
床掘		m ³	1.6
埋戻し		m ³	1.6
植生土のう	1箇所当り数量	m ²	1.20

ストレーナ加工図 S=1/25

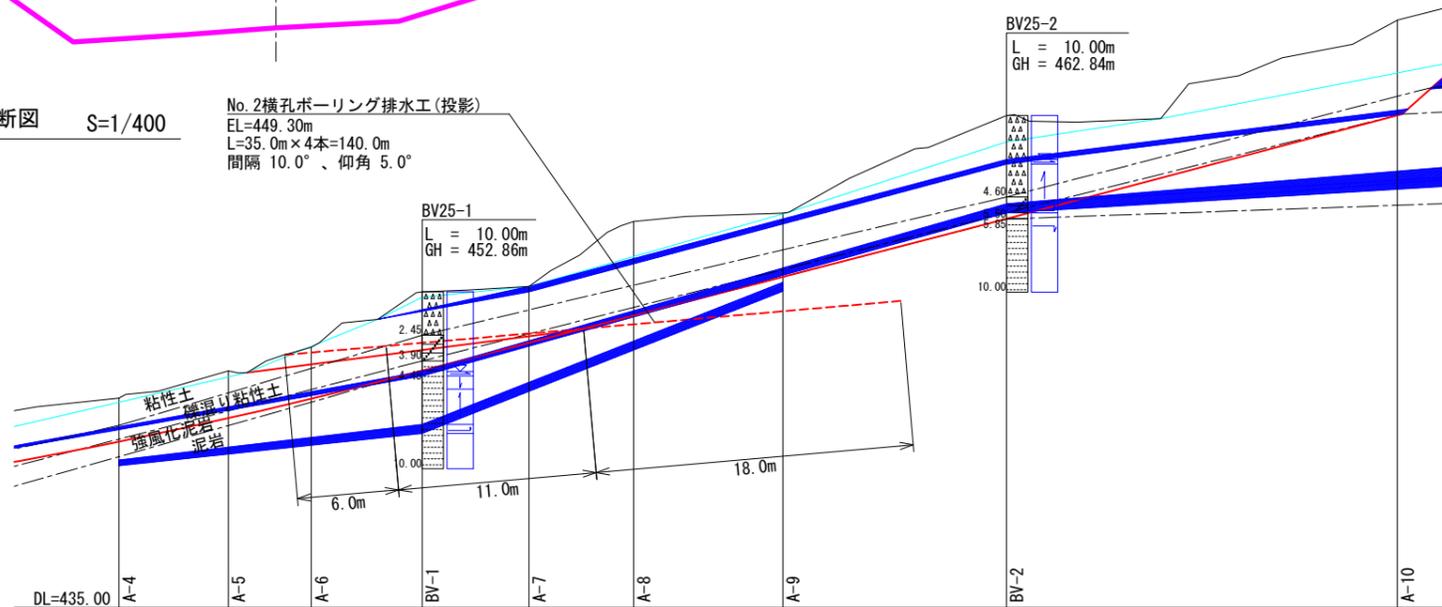


孔口保護工詳細図 S=1/50



縦断面図 S=1/400

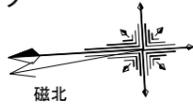
No. 2横孔ボーリング排水工 (投影)
EL=449.30m
L=35.0m × 4本=140.0m
間隔 10.0°、仰角 5.0°



図面名	大和合地区 No. 2 横孔ボーリング排水工構造図		
図面番号	4-1	縮尺	図示

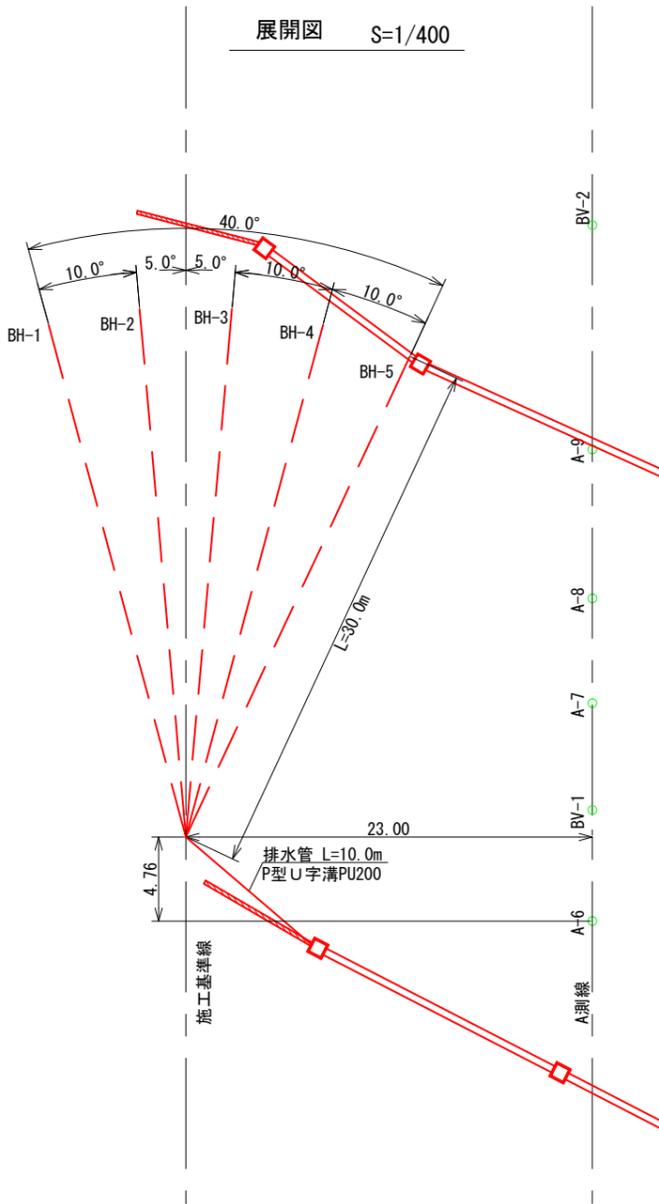
平面図 S=1/600

地すべりブロック



No. 3横孔ボーリング排水工構造図

展開図 S=1/400



横孔ボーリング排水工概量表

BH-No	打設位置 (FH)	展開角度	打設角度 (仰角°)	削孔径 (mm)	削孔長 (m)	土質区分 (m)			集水管長 (VP40, m)	口元管長 (VP75, m)
						シルト粘土	礫質土	軟岩		
1	452.00	+15.0	+3.0	90	30.0	10.0	9.0	11.0	30.0	2.0
2		+5.0	+3.0			10.0	9.0	11.0		
3		-5.0	+3.0			10.0	9.0	11.0		
4		-15.0	+3.0			10.0	9.0	11.0		
5		-25.0	+3.0			10.0	9.0	11.0		
合計: 5本		展開角40°			150.0	50.0	45.0	55.0	150.0	10.0

排水管: P型U字溝PU200 L=10.0m

集水保孔管は硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP40ストレーナ (穴径5mm-間隔100mm/4方千鳥)。集水保孔管の打設位置は設計標高通りに打設する (設計標高: 452.0m)。施工基準線は、A測線を北方向に23.0mオフセットした線とし、打設位置はA-6から上流側に4.76m離れた施工基準線上の位置とする。BH-2は北に5.0° 展開し、BH-3は南に5.0° 展開する。

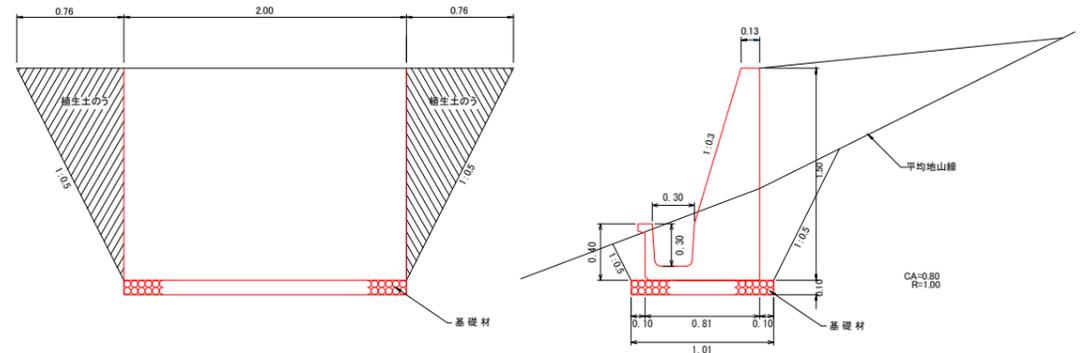
孔口保護工数量表

名称	規格	単位	数量
法止側溝	FL-S6150	m	2.0
基礎砕石	C40	m ³	0.2
床掘		m ³	1.6
埋戻し		m ³	1.6
植生土のう	1箇所当り数量	m ²	1.20

ストレーナ加工図 S=1/25

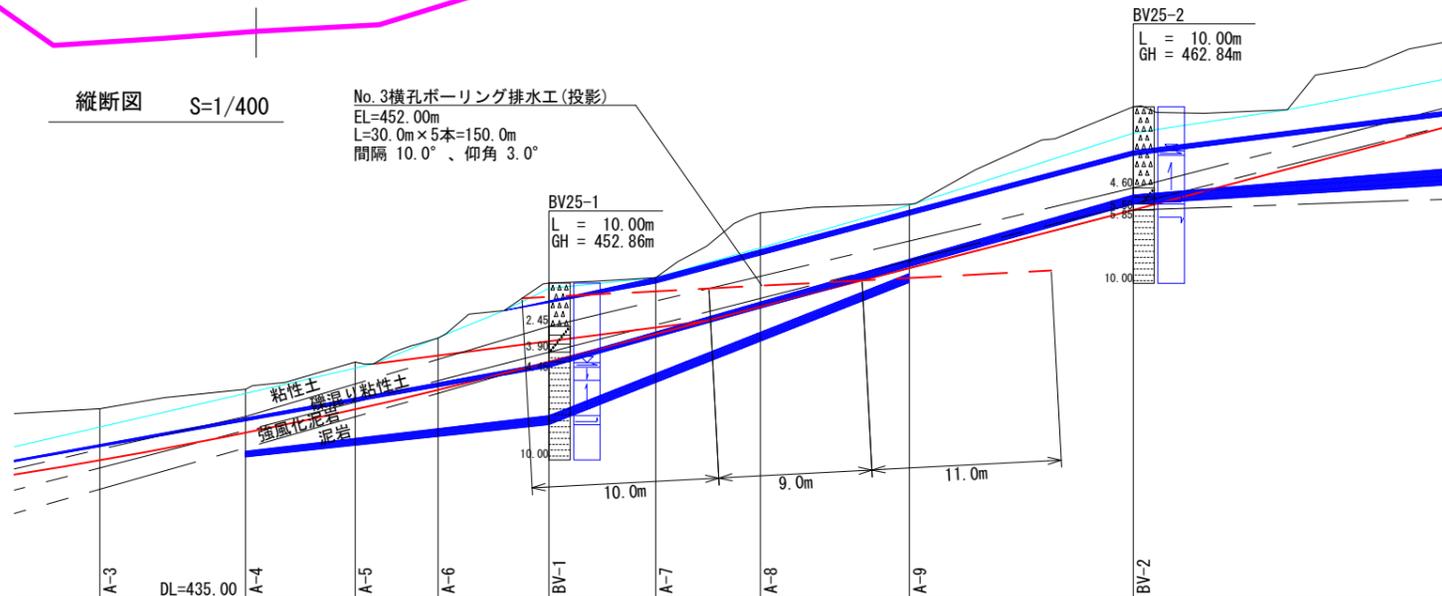


孔口保護工詳細図 S=1/50

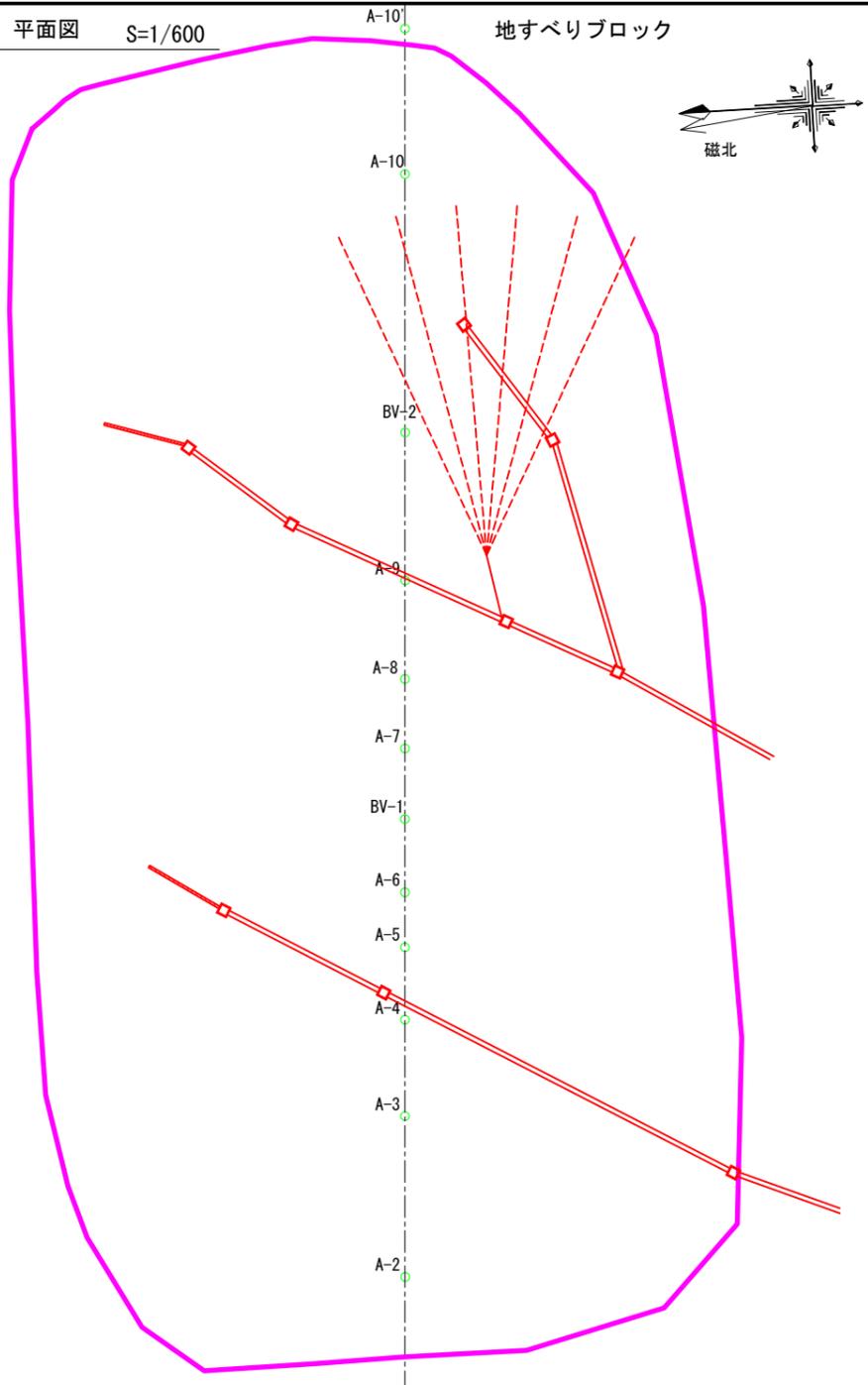


縦断面図 S=1/400

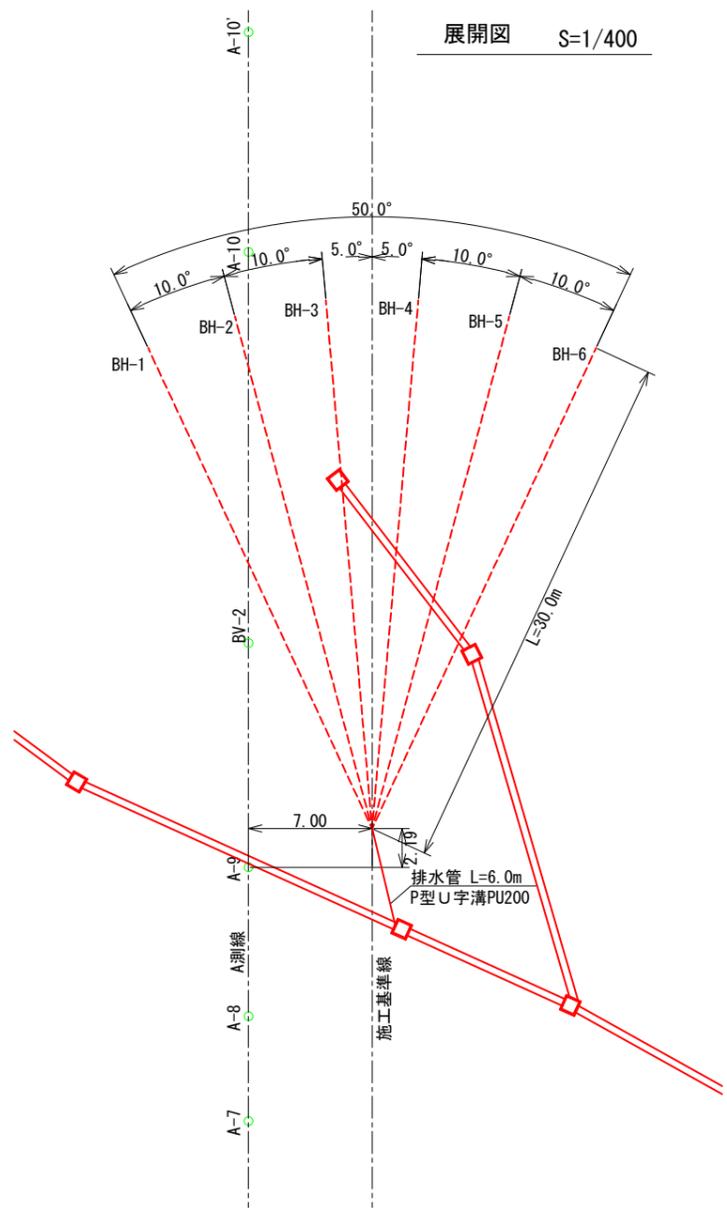
No. 3横孔ボーリング排水工 (投影)
 EL=452.00m
 L=30.0m × 5本=150.0m
 間隔 10.0°、仰角 3.0°



図面名	大和合地区 No. 3 横孔ボーリング排水工構造図		
図面番号	4-2	縮尺	図示



No. 4横孔ボーリング排水工構造図



横孔ボーリング排水工施工諸元

BH-No	打設位置 (FH)	展開角度	打設角度 (仰角°)	削孔径 (mm)	削孔長 (m)	土質区分 (m)			集水管長 (VP40, m)	口元管長 (VP75, m)	
						シルト粘土	礫質土	軟岩			
1	458.40	50.0°	+25.0	+5.0	90	30.0	17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
2			+15.0	+5.0			17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
3			+5.0	+5.0			17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
4			-5.0	+5.0			17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
5			-15.0	+5.0			17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
6			-25.0	+5.0			17.0	13.0	0.0	30.0	2.0
合計: 6本						180.0	102.0	78.0	0.0	180.0	12.0

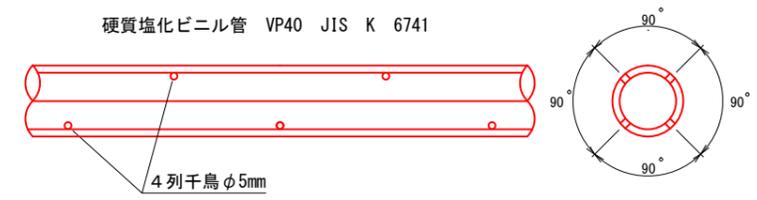
排水管: P型U字溝PU200 L=6.0m

集水保孔管は硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP40ストレーナ (穴径5mm-間隔100mm/4方千鳥)。集水保孔管の打設位置は設計標高通りに打設する (設計標高: 458.40m)。施工基準線は、A測線を北方向に7.0mオフセットした線とし、打設位置はA-9から上流側に2.19m離れた施工基準線上の位置とする。BH-3は北に5.0°展開し、BH-4は南に5.0°展開する。

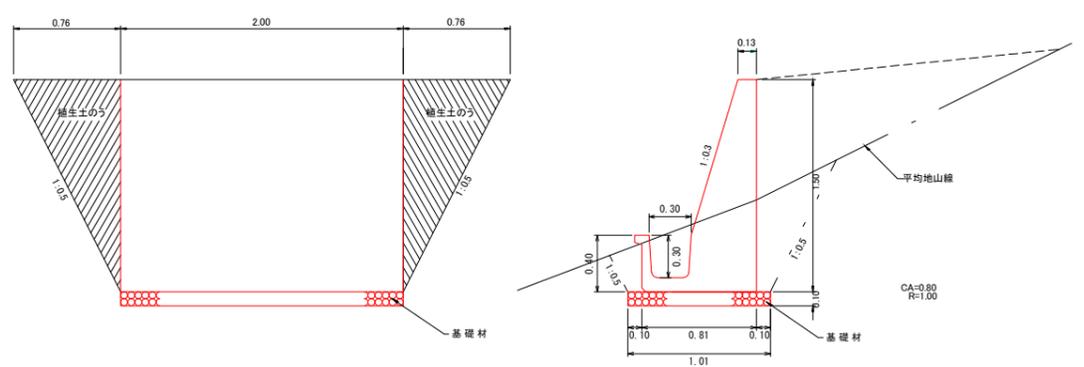
孔口保護工数量表

名称	規格	単位	数量
法止側溝	FL-S6150	m	2.0
基礎砕石	C40	m ³	0.2
床掘		m ³	1.6
埋戻し		m ³	1.6
植生土のう	1箇所当り数量	m ²	1.20

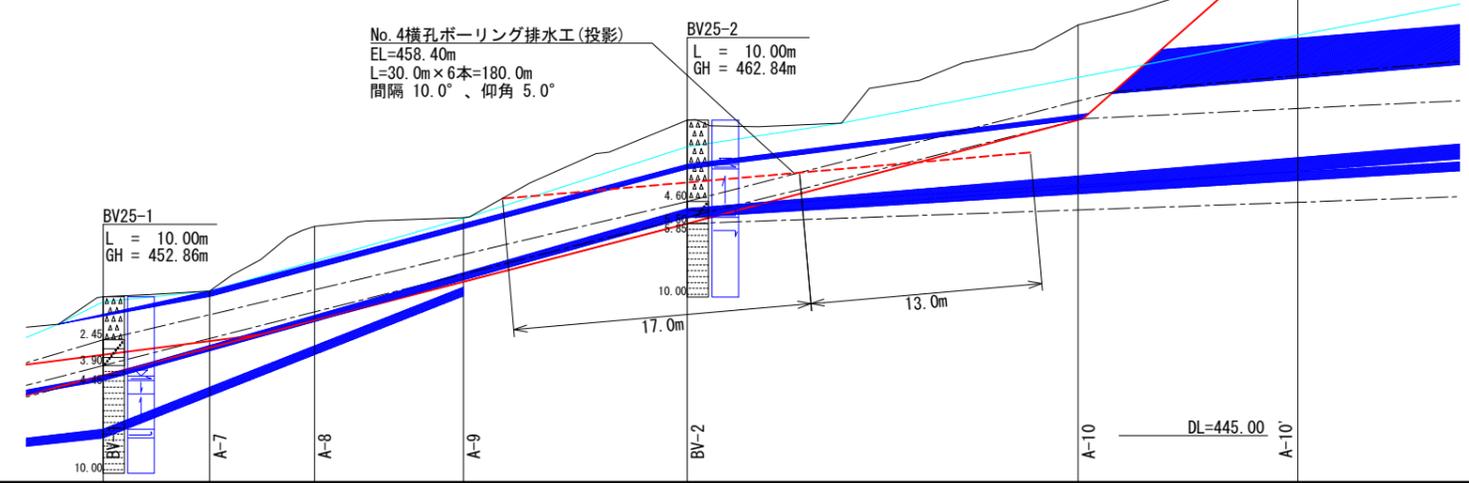
ストレーナ加工図 S=1/25



孔口保護工詳細図 S=1/50



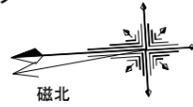
縦断面図 S=1/400



図面名	大和合地区 No. 4 横孔ボーリング排水工構造図		
図面番号	4-3	縮尺	図示

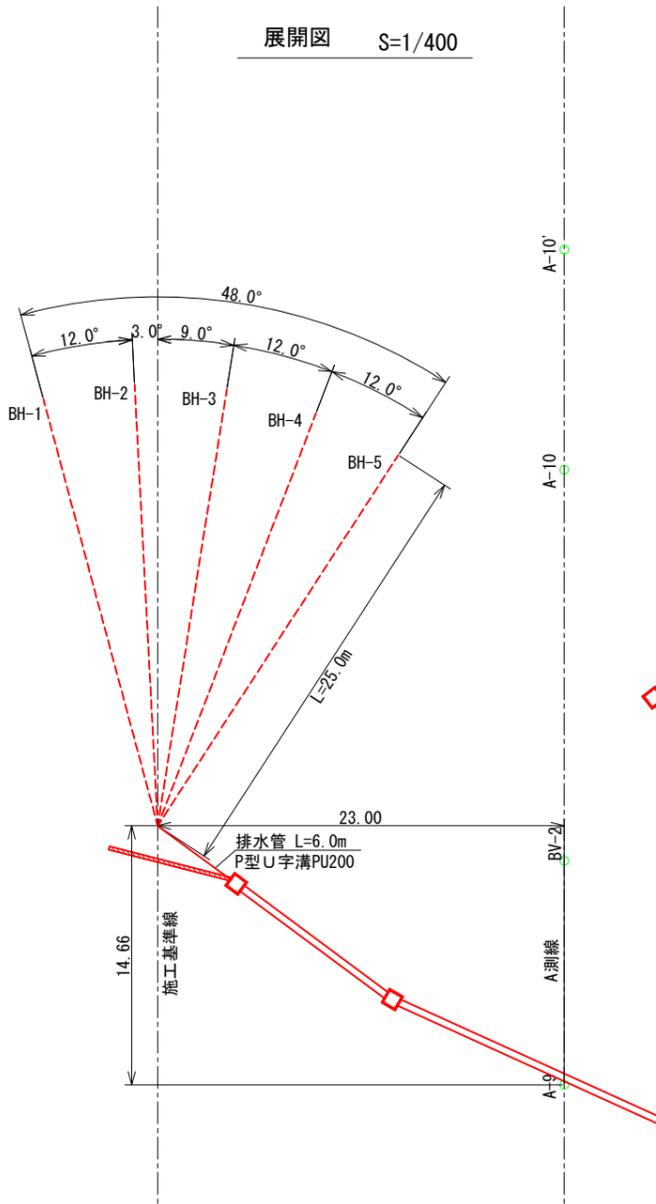
平面図 S=1/600

地すべりブロック



No. 5横孔ボーリング排水工構造図

展開図 S=1/400



横孔ボーリング排水工数量表

BH-No	打設位置 (FH)	展開角度	打設角度 (仰角°)	削孔径 (mm)	削孔長 (m)	土質区分 (m)			集水管長 (VP40, m)	口元管長 (VP75, m)
						シルト粘土	礫質土	軟岩		
1	460.00	+15.0	+5.0	90	25.0	7.0	18.0	0.0	25.0	2.0
2		+3.0	+5.0			7.0	18.0	0.0		
3		-9.0	+5.0			7.0	18.0	0.0		
4		-21.0	+5.0			7.0	18.0	0.0		
5		-33.0	+5.0			7.0	18.0	0.0		
合計: 5本		展開角48°			125.0	35.0	90.0	0.0	125.0	10.0

排水管: P型U字溝PU200 L=6.0m

集水保孔管は硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP40ストレーナ (穴径5mm-間隔100mm/4方千鳥)。集水保孔管の打設位置は設計標高通りに打設する (設計標高: 460.0m)。施工基準線は、A測線を北方向に23.0mオフセットした線とし、打設位置はA-9から上流側に14.66m離れた施工基準線上の位置とする。BH-2は北に3.0°展開し、BH-3は南に9.0°展開する。

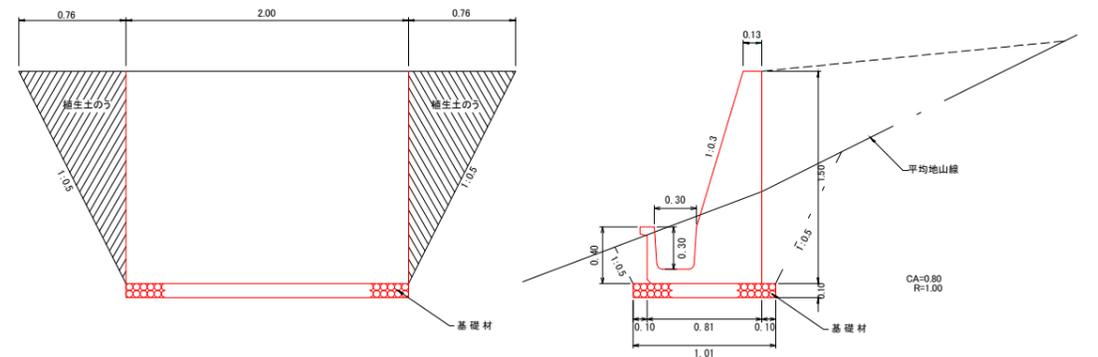
孔口保護工数量表

名称	規格	単位	数量
法止側溝	FL-S6150	m	2.0
基礎砕石	C40	m ³	0.2
床掘		m ³	1.6
埋戻し		m ³	1.6
植生土のう	1箇所当り数量	m ²	1.20

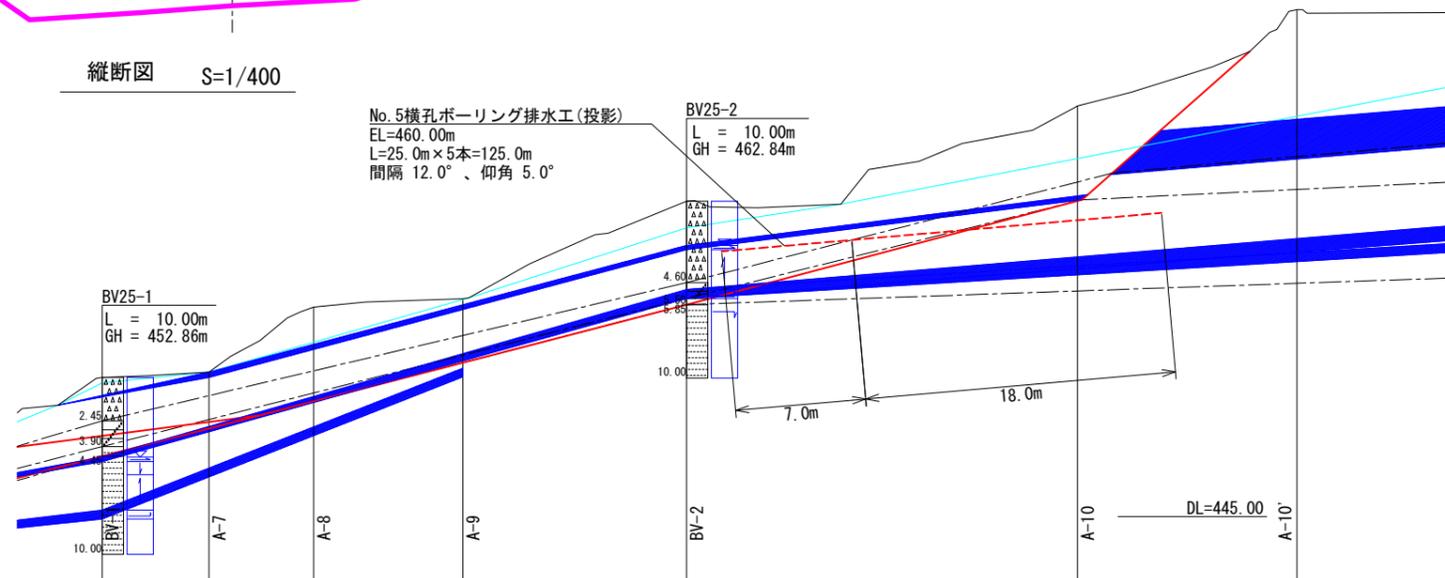
ストレーナ加工図 S=1/25



孔口保護工詳細図 S=1/50

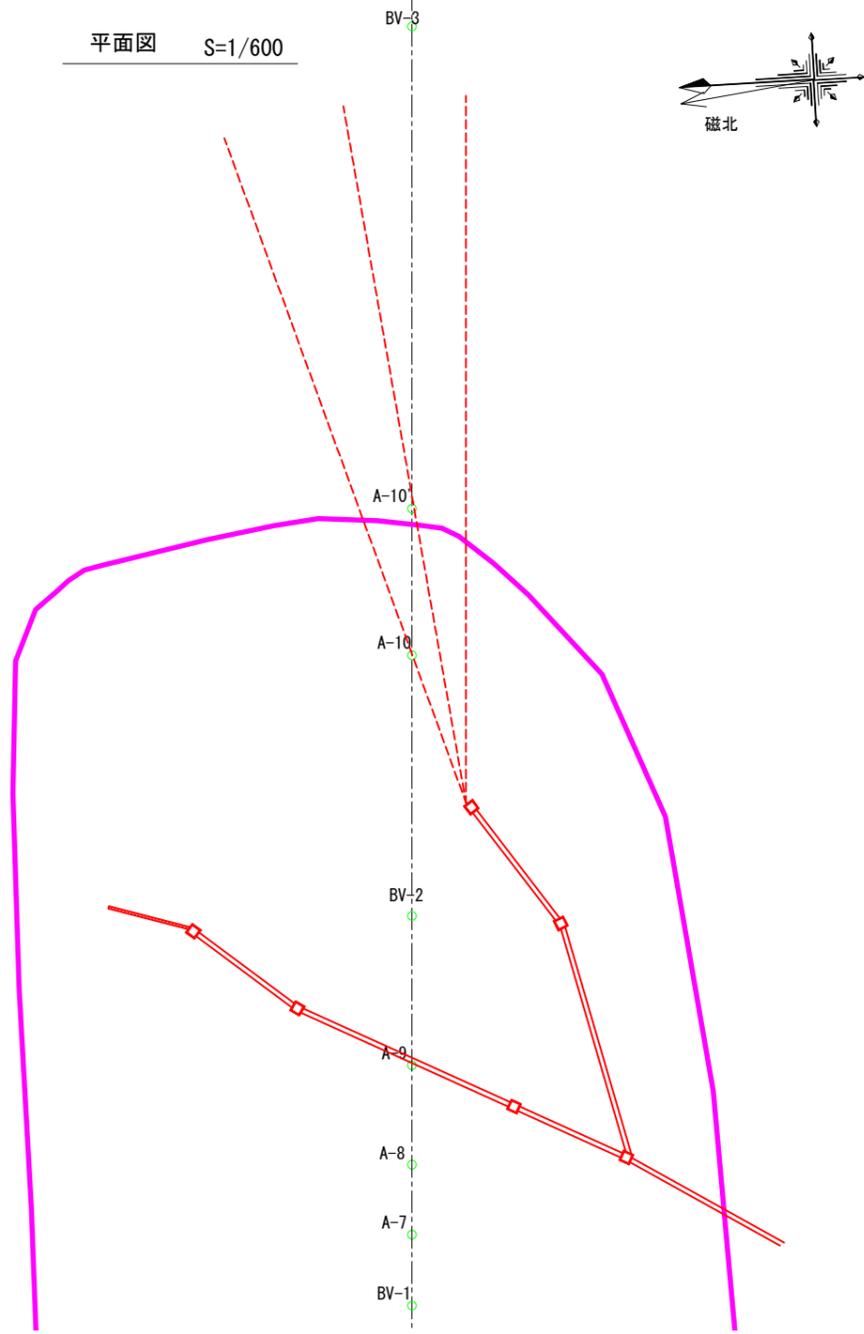


縦断面図 S=1/400



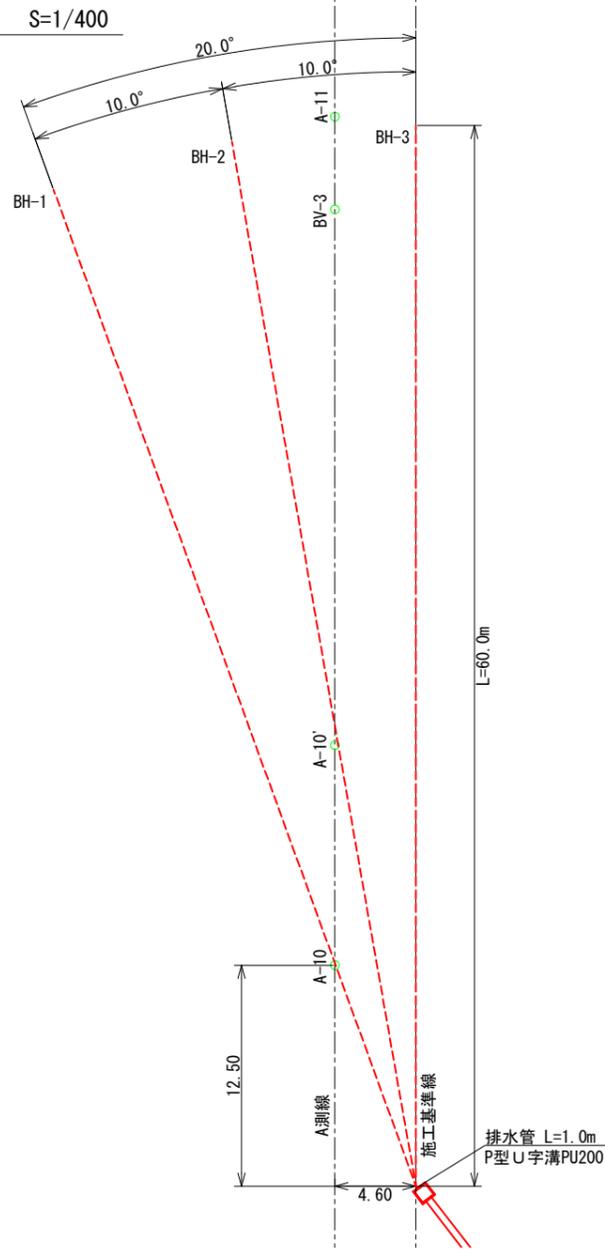
図面名	大和合地区 No. 5 横孔ボーリング排水工構造図		
図面番号	4-4	縮尺	図示

平面図 S=1/600



No. 6横孔ボーリング排水工構造図

展開図 S=1/400



横孔ボーリング排水工数量表

BH-No	打設位置 (FH)	展開角度	打設角度 (仰角°)	削孔径 (mm)	削孔長 (m)	土質区分 (m)			集水管長 (VP40, m)	口元管長 (VP75, m)
						シルト粘土	礫質土	軟岩		
1	463.70	+20.0	+5.0	90	60.0	60.0	0.0	0.0	60.0	2.0
2		+10.0	+5.0		60.0	60.0	0.0	0.0	60.0	2.0
3		+0.0	+5.0		60.0	60.0	0.0	0.0	60.0	2.0
合計: 3本		展開角20°			180.0	180.0	0.0	0.0	180.0	6.0

排水管: P型U字溝PU200 L=1.0m

集水保孔管は硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP40ストレーナ (穴径5mm-間隔100mm/4方千鳥)。集水保孔管の打設位置は設計標高通りに打設する (設計標高: 463.7m)。施工基準線は、A測線を北方向に4.60mオフセットした線とし、打設位置はA-10から下流側に12.50m離れた施工基準線上の位置とする。BH-3は施工基準線上に位置し北、BH-2~1は北に10.0°展開する。

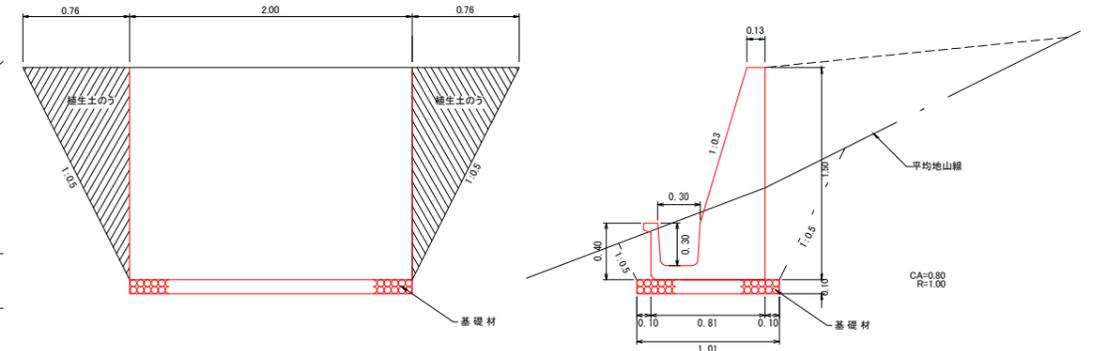
孔口保護工数量表

名称	規格	単位	数量
法止側溝	FL-36150	m	2.0
基礎碎石	C40	m ³	0.2
床掘		m ³	1.6
埋戻し		m ³	1.6
植生土のう	1箇所当り数量	m ²	1.20

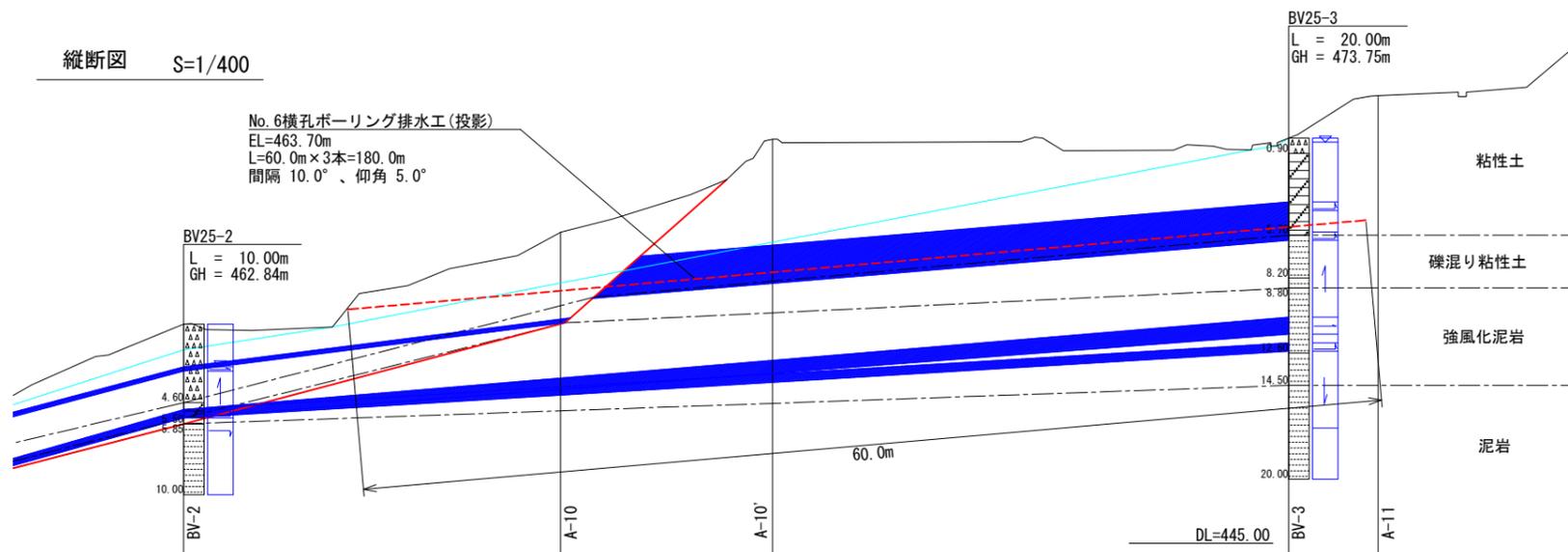
ストレーナ加工図 S=1/25



孔口保護工詳細図 S=1/50



縦断面図 S=1/400



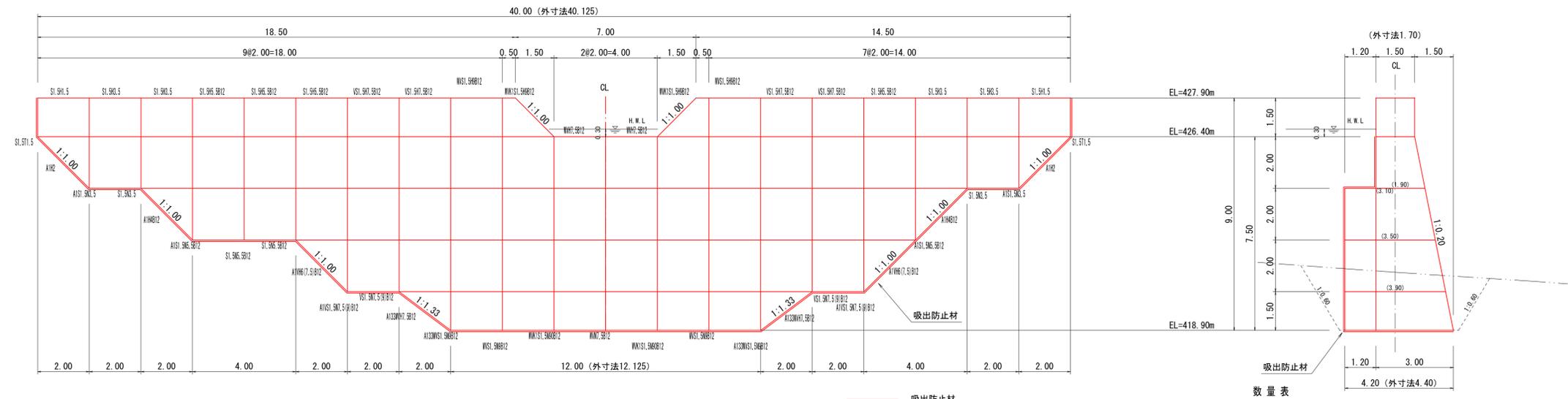
No. 6横孔ボーリング排水工 (投影)
 EL=463.70m
 L=60.0m × 3本=180.0m
 間隔 10.0°、仰角 5.0°

BV25-2
 L = 10.00m
 GH = 462.84m

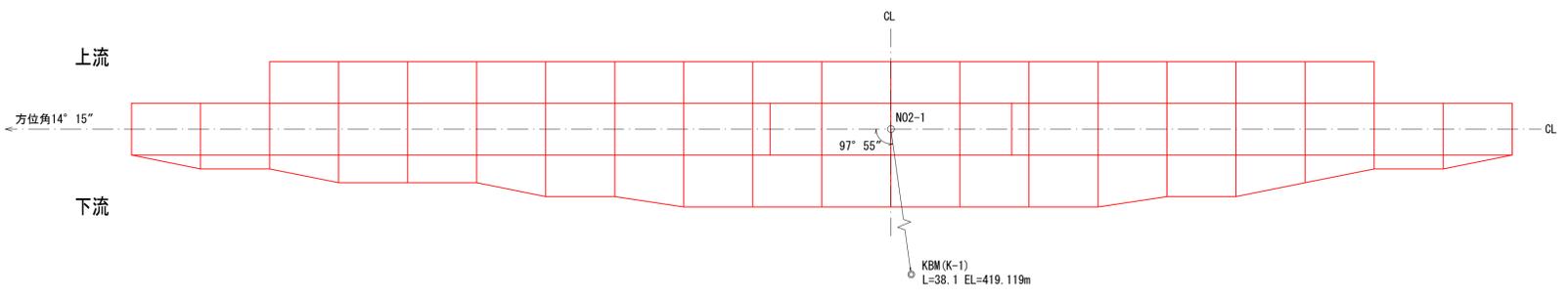
BV25-3
 L = 20.00m
 GH = 473.75m

図面名	大和合地区 No. 6 横孔ボーリング排水工構造図		
図面番号	4-5	縮尺	図示

右岸 正面展開図 左岸 断面図 (4型) 上流 下流



平面図

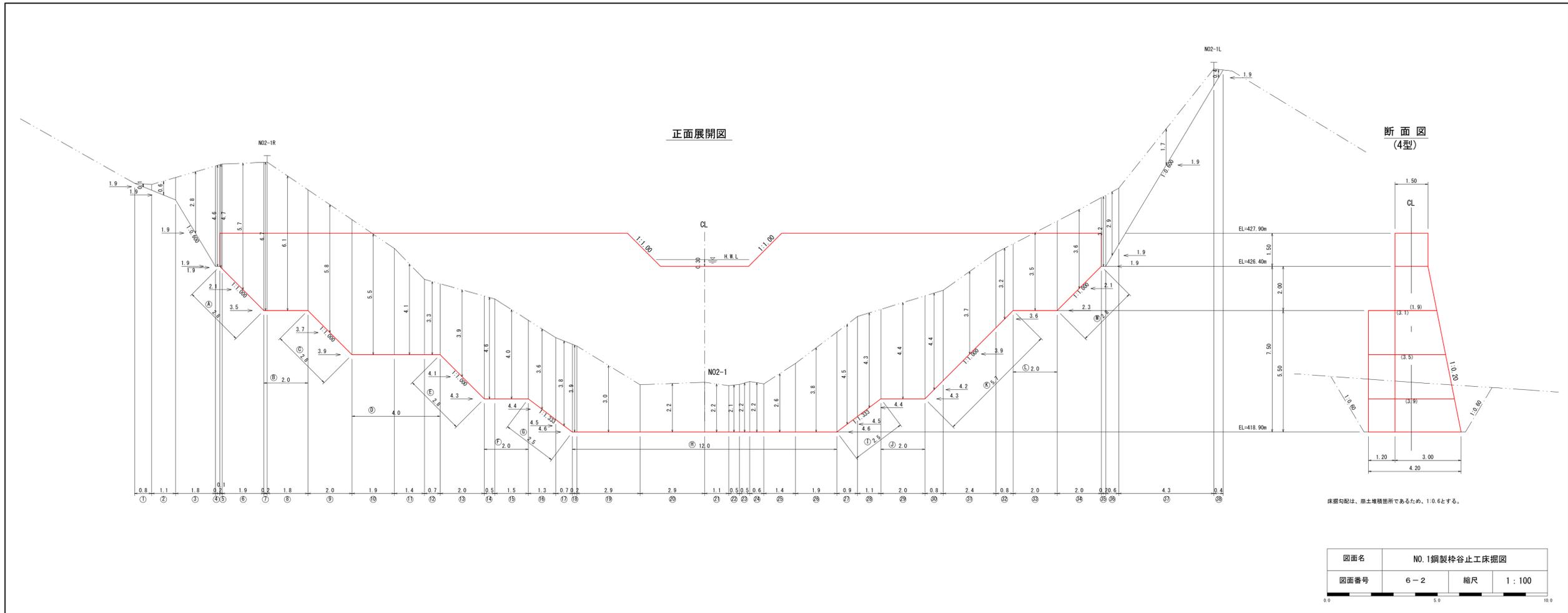


数量表

区分	型式	数量	質量 (kg)		容積 (m³)		備考
			単位質量	質量	単位容積	容積	
本体	WN1.5B12	2	1388.25	2776.50	46.96	93.90	
	WN1.5B9B12	2	1478.57	2957.14	49.76	99.52	
	WN1.5B6B12	2	1614.89	3229.78	51.45	102.90	
	YS1.5B7.5B12	4	1341.57	5366.28	39.30	157.20	
	YS1.5B6.5B12	4	1056.94	4227.76	24.50	98.00	
	YS1.5B5.5	4	854.40	3417.60	11.30	45.20	
	YS1.5B4.5	2	250.83	501.66	4.59	9.18	
	A1WB7.5B12	2	440.47	880.94	7.27	14.54	三角材
	A1WB12	2	451.80	903.60	6.47	12.94	三角材
	A1B2	2	300.25	600.50	3.27	6.54	三角材
	A13WB1.5B12	2	462.84	925.68	6.00	12.00	三角材
	中柱項	WN1.5B9B12	2	1614.89	3229.78		
WN1.5B6B12		2	1537.07	3074.14			
A13WB1.5B9B12		2	1547.07	3094.14			
YS1.5B7.5B9B12		2	1138.42	2276.84			
YS1.5B7.5B6B12		2	1148.55	2297.10			
YS1.5B6.5B12		2	716.18	1432.36			
A1S1.5B6.5B12		2	727.11	1454.22			
YS1.5B4.5		2	386.88	773.76			
YS1.5B3.5	2	375.07	750.14				
基礎合計			4020.35		81.74	163.48	

図面名: N0.1 鋼製柱谷止工構造図
 図面番号: 6-1 縮尺: 1:100





正面展開図

断面図
(4型)

床掘勾配は、崩土堆積箇所であるため、1:0.6とする。

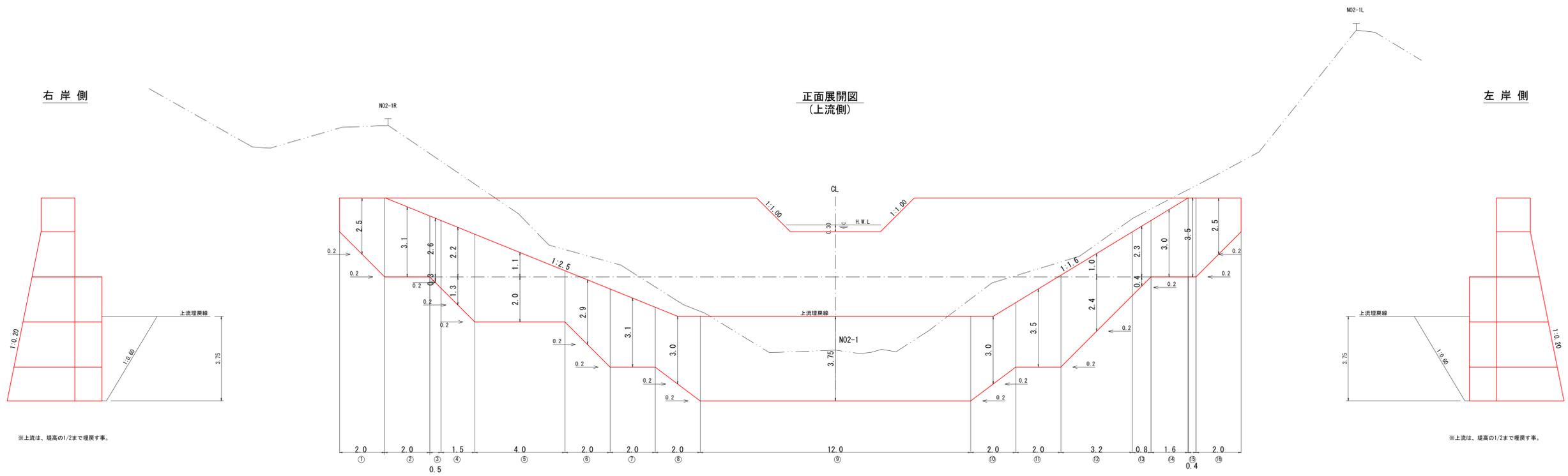
図面名	NO. 1鋼製柱谷止工床掘図	
図面番号	6-2	縮尺 1:100



右岸側

正面展開図
(上流側)

左岸側



※上流は、堤高の1/2まで埋戻す事。

※上流は、堤高の1/2まで埋戻す事。

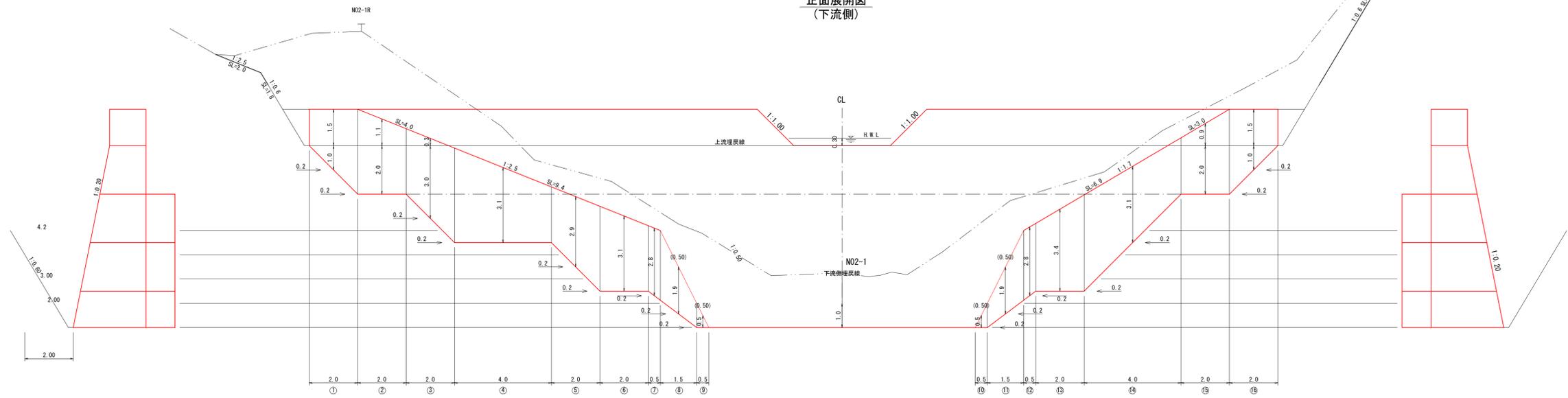
図面名	NO.1鋼製枠谷止工理展開図(上流)		
図面番号	6-3	縮尺	1:100



右岸側

左岸側

正面展開図
(下流側)



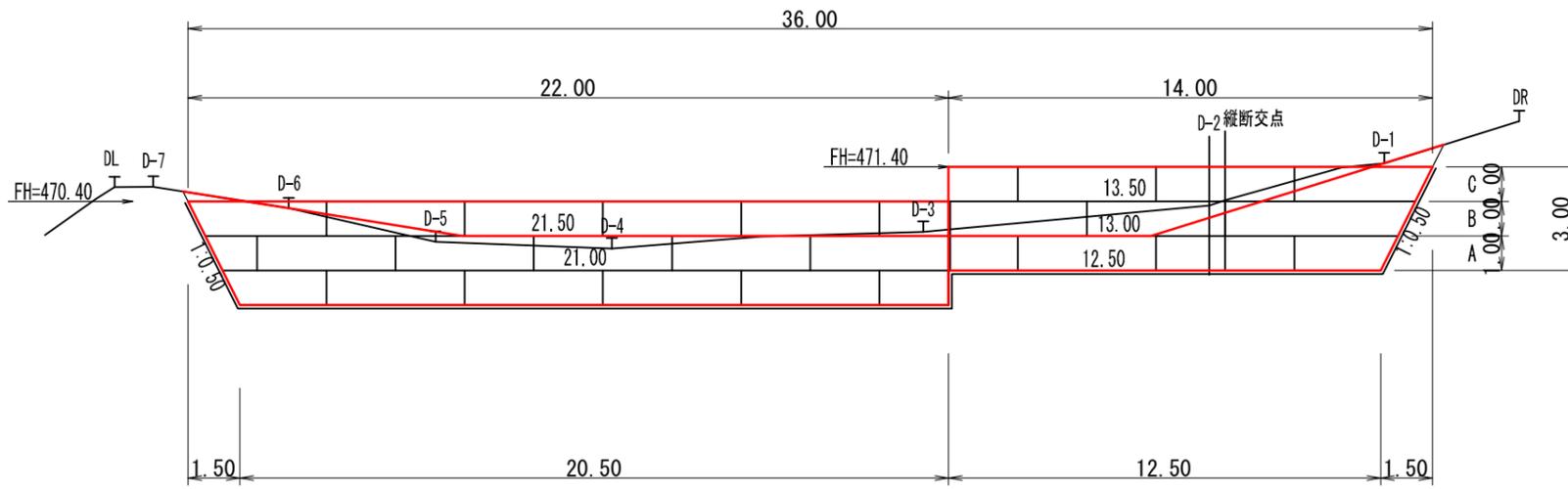
図面名	NO.1鋼製柱谷止工理展開図(下流)		
図面番号	6-4	縮尺	1:100



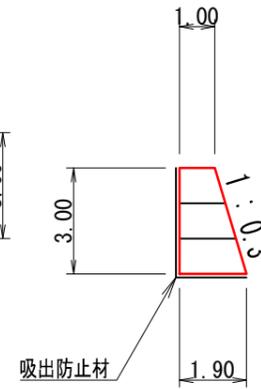
No1土留工構造図

測点: D-2

正面図



側面図

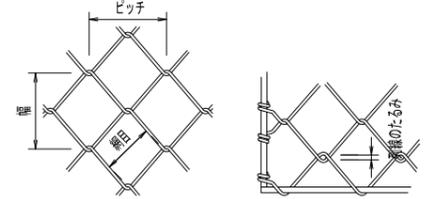


特記仕様

部位	鋼材	材質・表面処理
金網部	垂鉛めっき鉄線 φ8mm	JIS G3547 SWMS-5
枠部	一般構造用圧延鋼材 φ13・10mm	溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZ55
※ 連結金具	<M12> Uボルト (35×75)	溶融亜鉛めっき
	平鉄3本ボルト (横)	溶融亜鉛めっき
	平鉄3本ボルト (縦)	溶融亜鉛めっき
	軟鋼線材 又は 冷間圧造用炭素鋼線材	溶融亜鉛めっき

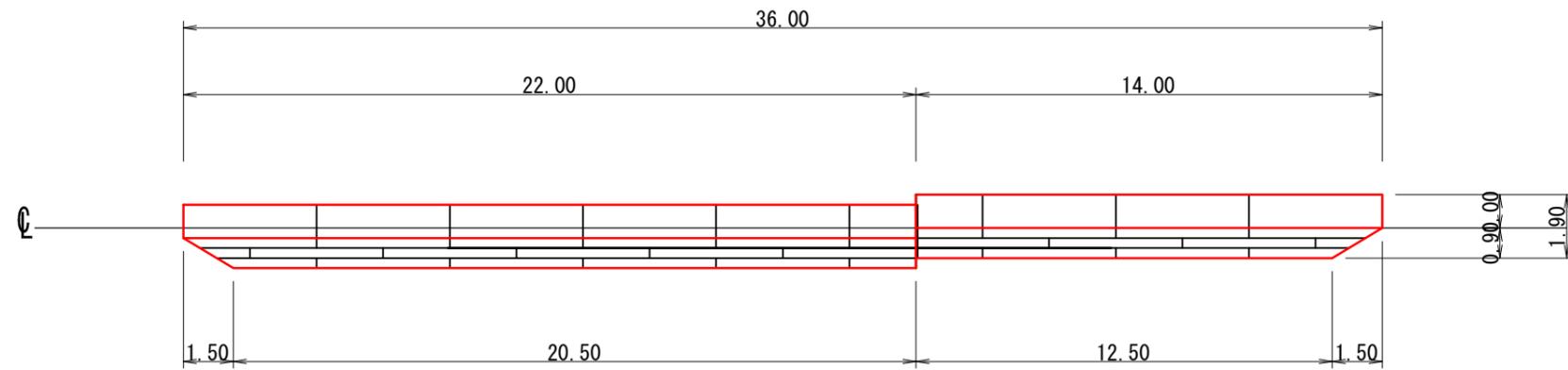
金網詳細仕様 (単位: mm)					
線径	網目	ピッチ	幅	たるみ	
150mm	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

金網詳細仕様寸法図

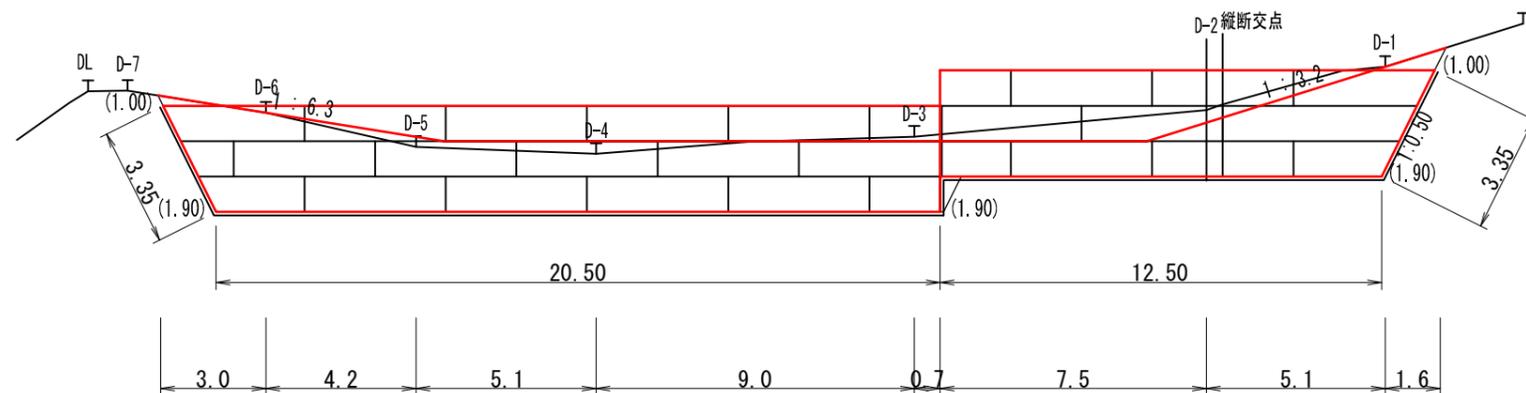


※ 連結金具はM12を用いること。

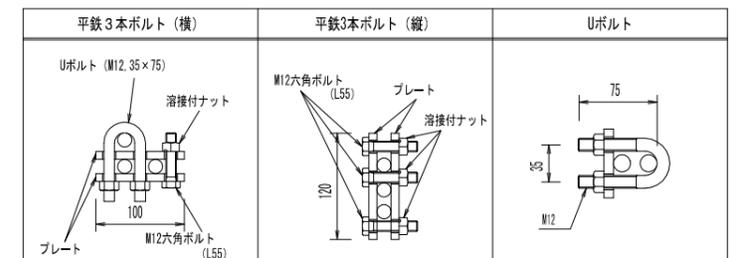
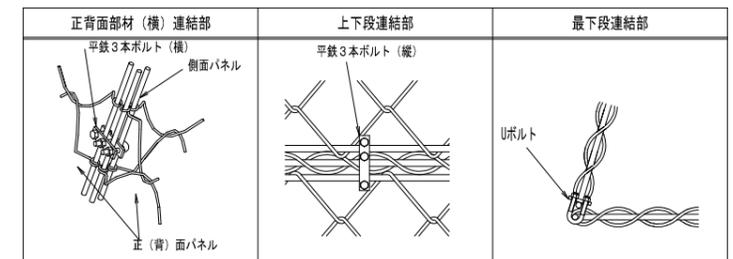
平面図



床掘計算図



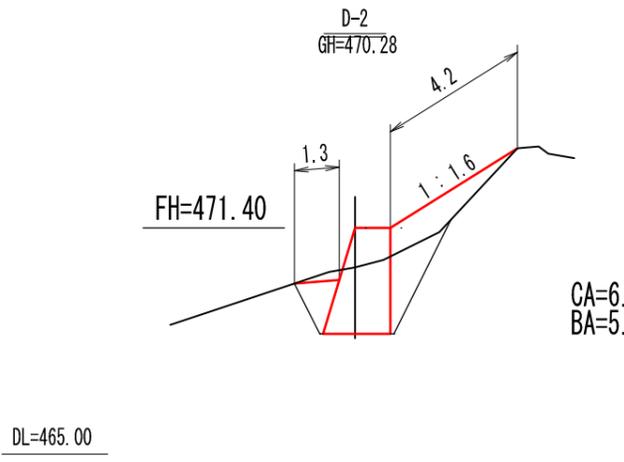
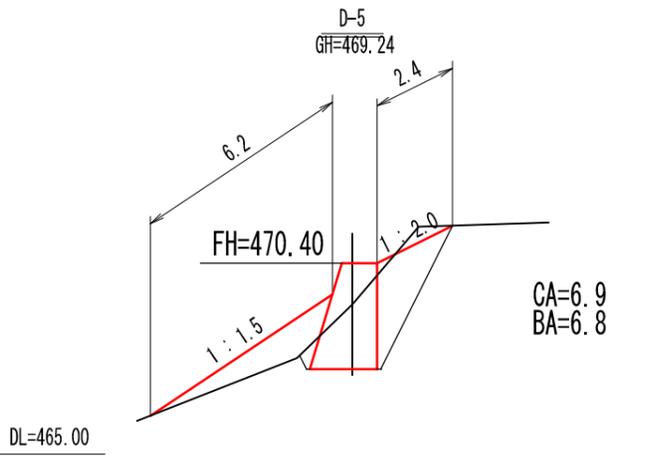
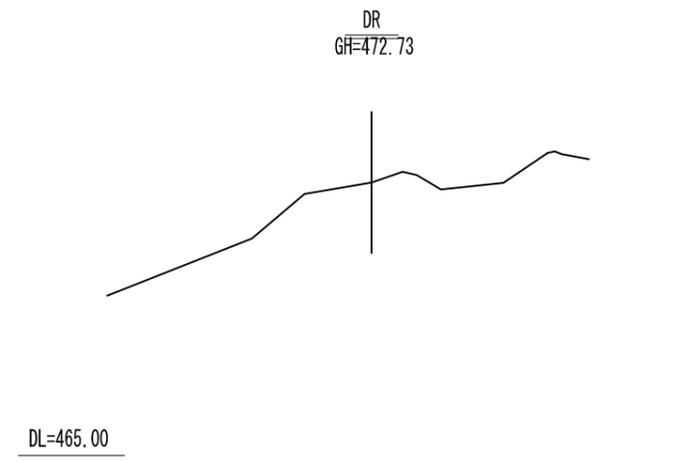
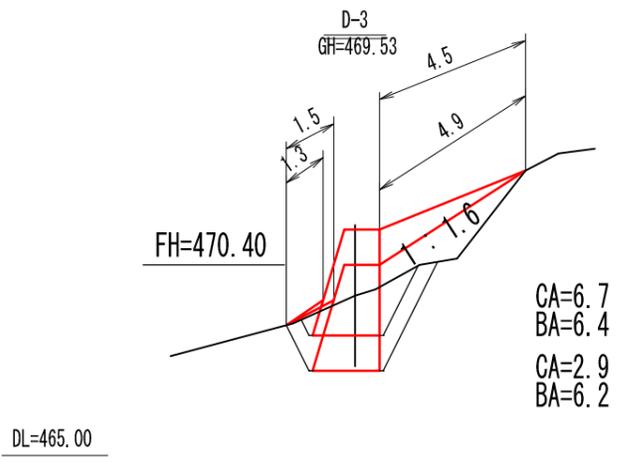
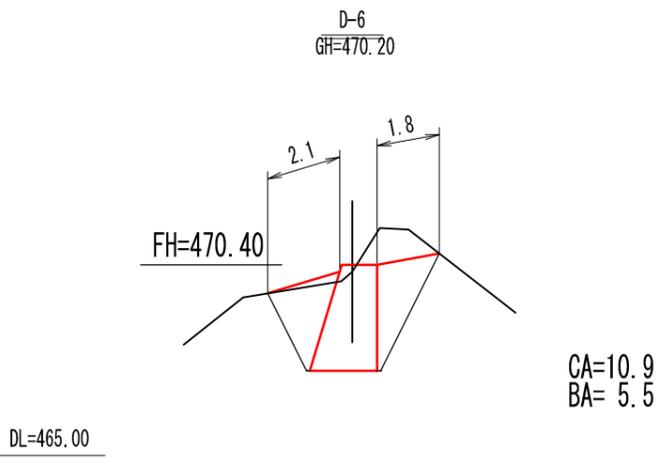
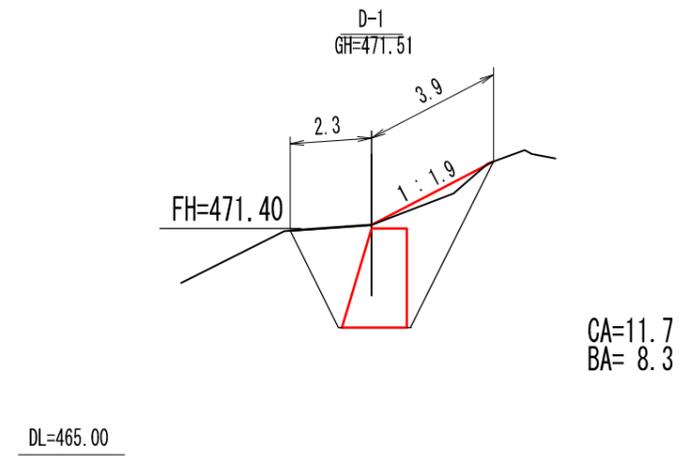
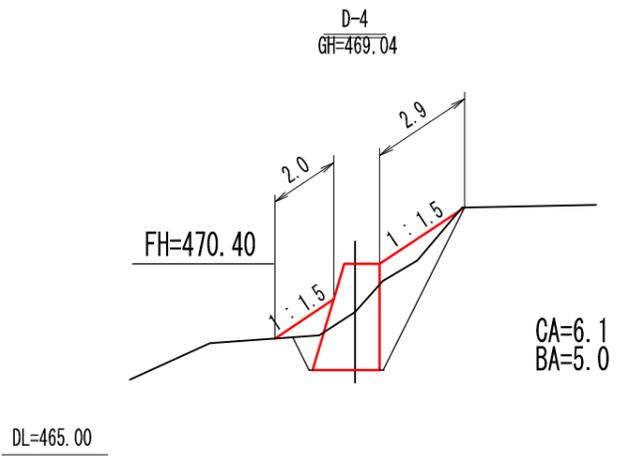
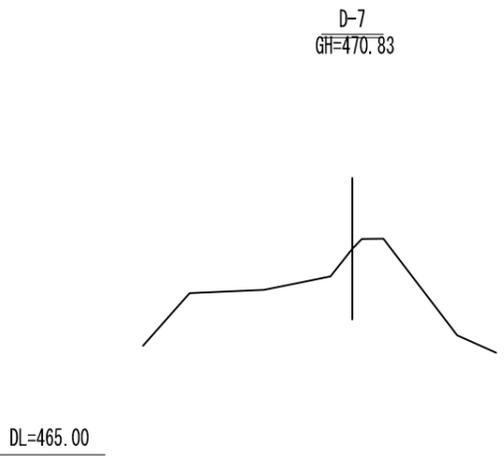
各部詳細図



本計画は、上図に示す構造仕様に基づいた安定検討により設計されています。

図面名	土留工構造図	
図面番号	7-1	縮尺 1:200

0 10.0



図面名	土留工土工図		
図面番号	7-2	縮尺	1:200

0 10.0